

施工現場における問題点と対策について

工事名 : 平成30年度 河津下田道路大鍋地区道路建設工事

(一社) 静岡県土木施工管理技士会
下田地区
河津建設株式会社
現場代理人 佐野 行伸 (技術者番号 00148199)

1. はじめに

本工事は、河津下田道路建設に伴うA P5橋脚及び本線土工、ならびに松崎地区残土処理場における施工管理を行う工事である。

工事名：平成30年度 河津下田道路大鍋地区道路建設工事

発注者：国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所

工事場所：静岡県賀茂郡河津町大鍋地先

工 期 : 平成31年4月25日 ~ 令和2年2月28日

工事内容：道路土工（大鍋・松崎地区）1式
舗装工（大鍋・松崎地区）1式
排水構造物工（大鍋・松崎地区）1式
R C橋脚工（大鍋地区）1式
除草工（大鍋地区）1式
仮設工（大鍋・松崎地区）1式



2. 施工現場における問題点

本工事における道路土工（大鍋地区の山切）は施工箇所が山の上部である為、残土処理はパイロット道路を使用したクローラダンプによる小運搬を行って残土積換え場に仮置きし、積換え場から大型ダンプにて残土を搬出する施工方法であるが、積換え場の位置及び搬出ルート等にいくつか問題点があった。

- 1) 当初計画で指定された残土積換え場は仮置き容量が少なく、直下に民家があることなどから、利用は不可能な状況であった。
- 2) 残土搬出のルートとして小鍋地区側を運搬する計画になっていたが、部落内の道路状況、他工事との錯綜等の観点から、ルートの変更が必要であった。
- 3) R C橋脚工の施工箇所上部の法面からの落石が多数確認され、橋脚施工中の落石による災害が懸念された。



3. 問題点に対する対応及び結果

1) 2) 残土積換え場・搬出ルートの変更

設計照査～発注者との協議により、残土積換え場を小鍋側から反対の大鍋側B P 5橋脚横への変更を実施した。これによって、仮設道路の整備に多少の時間が掛かかるものの、仮置き土砂のストック量は増加し、民家への落石等の懸念を払拭することができた。また、同時に搬出ルートを変更することになったことで、他工事との細かい調整等も不要になり、安全面での不安要素は減少するとともに、大幅な工程の短縮にも繋がった。

現場状況写真



3) 法面保護による落石防護

R C 橋脚工の施工上部であり、変更した土砂運搬ルートの上部にもあたる落石を伴う法面についても、発注者との協議によりモルタル吹付を施した。

工事開始前に措置を行えた為、完成時まで安全な施工を実施することが出来た。

落石の状況



現場状況写真



4. おわりに

どのような工事を行うにあたっても、いかに良い方向へ導いて行くかを考えながら取り組んでおりますが、実際はなかなか全てが思い通りには進まないと思います。今回の工事は伊豆縦貫河津下田道路において最も施工量が多い地区内の施工であり、スムーズな施工は厳しいと考えていました。しかし、発注者の早急な対応と関連工事業者の協力により1ヶ月程度早い完成を実現することが出来ました。今後も連携を大事にしながら、様々な状況に適応出来るよう努めていきたいと思います。

工事完成写真

